

令和元年度

授業シラバス・年間指導計画

英語(2年)

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ (R・普通科文系/理数科)	3	普通科 理数科	2
履修形態	授 業 形 態	指 導 者 名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英語科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER Communication English Ⅱ（数研出版）
教科書以外の教材（発行所）	New Treasure English Series Stage 4 (Z 会出版),

目 標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。		
定期考查	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第1回	BIG DIPPER Ⅱ: Lesson 7 New Treasure: Lesson 1, 2
		第2回	BIG DIPPER Ⅱ: Lesson 8, 9 New Treasure: Lesson 3, 4
		第3回	BIG DIPPER Ⅱ: Lesson 10, Reading New Treasure: Lesson 5, 6
評価の観点・ 評価の方法	○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○ 具体的な評価は、定期考查を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。		
先生から アドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、ノート の取り方など)	2年次のコミュニケーション英語Ⅱの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅱではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。		

年間授業計画表						
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント	
前期	4	NT L.1	Crossing the Alps by Rail	10	ゼメリング鉄道建設に関する論説を読む。	
		NT L.2	The Hero Who Refused to Be a Hero	10	イレーナ・センドラーの半生を読む。	
	5	B.D. L.7	The France Okaeshi Project	10	東北震災に際して、フランスが日本にしてくれた恩返しの概要を理解する。	
		第1回考查				
	6	NT L.3	Different Styles of Encouragement	10	日米における励まし方の違いに関する英文を読む。	
		NT L.4	Biodiversity – Nature in the Balance	11	屋久島の生物多様性の被害やその原因についての英文を読む。	
		B.D. L.8	What Is the True Meaning of Mottainai?	11	世界中に広まった「もったいない」という言葉の本当の意味を理解し問い直す。	
		B.D. L.9	Fair Play in Sports: What Is “Fair”?	10	スポーツで求められるフェアプレーの「フェア」とは何か。その概要を理解する。	
		第2回考查				
	7	NT L.5	Curing – Chess on Ice	11	カーリングのルールや特徴に関する英文を読む。	
		NT L.6	Popularity Breeds Popularity	11	商品やサービスの実例を踏まえた経済に関する英文を読む。	
		9	B.D. L.10	Floating Education	12	バングラデシュの厳しい生活環境や教育を受ける権利の重要性を理解する。
			B.D. Rd	Badger’s Parting Gifts	11	愛する友人が亡くなった悲しみを思い出で癒し、乗り越えようとする仲間の物語。その概要を理解する。
	後期	10	第3回考查			
		総時間数			117	

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ (R・普通科理系)	2	普通科	2
履修形態	授 業 形 態	指 導 者 名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英語科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER Communication English Ⅱ（数研出版）
教科書以外の教材（発行所）	New Treasure English Series Stage 4 (Z 会出版),

目 標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。		
定期考查	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第1回	BIG DIPPER Ⅱ: Lesson 7 New Treasure: Lesson 1, 2
		第2回	BIG DIPPER Ⅱ: Lesson 8,9 New Treasure: Lesson 3, 4
		第3回	BIG DIPPER Ⅱ: Lesson 10 Reading New Treasure: Lesson 5, 6
評価の観点・ 評価の方法	○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○ 具体的な評価は、定期考查を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。		
先生から アドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、ノート の取り方など)	2年次のコミュニケーション英語Ⅱの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅱではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。		

年間授業計画表						
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント	
前期	4	NT L.1	Crossing the Alps by Rail	7	ゼメリング鉄道建設に関する論説を読む。	
		NT L.2	The Hero Who Refused to Be a Hero	7	イレーナ・センドラーの半生を読む。	
	5	B.D. L.7	The France Okaeshi Project	7	東北震災に際して、フランスが日本にしてくれた恩返しの概要を理解する。	
		第1回考查				
	6	NT L.3	Different Styles of Encouragement	7	日米における励まし方の違いに関する英文を読む。	
		NT L.4	Biodiversity – Nature in the Balance	7	屋久島の生物多様性の被害やその原因についての英文を読む。	
		B.D. L.8	What Is the True Meaning of Mottainai?	7	世界中に広まった「もったいない」という言葉の本当の意味を理解し問い直す。	
		B.D. L.9	Fair Play in Sports: What Is “Fair”?	7	スポーツで求められるフェアプレーの「フェア」とは何か。その概要を理解する。	
		第2回考查				
	7	NT L.5	Curing – Chess on Ice	7	カーリングのルールや特徴に関する英文を読む。	
		NT L.6	Popularity Breeds Popularity	7	商品やサービスの実例を踏まえた経済に関する英文を読む。	
		9	B.D. L.10	Floating Education	7	バングラデシュの厳しい生活環境や教育を受ける権利の重要性を理解する。
			B.D. Rd	Badger’s Parting Gifts	8	愛する友人が亡くなった悲しみを思い出で癒し、乗り越えようとする仲間の物語。その概要を理解する。
	10	第3回考查				
後期						
		総時間数		78		

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (R・普通科文系 / 理数科)	1	普通科 理数科	2
履修形態	授 業 形 態	指 導 者 名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英語科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER Communication EnglishⅢ （数研出版）
教科書以外の教材（発行所）	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 4（Z会出版）

目 標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。		
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第4回	BIG DIPPER Ⅲ： Lesson 1 New Treasure 4： Lesson 7, 8
		年度末考査	BIG DIPPER Ⅲ： Lesson 2 New Treasure 4： Lesson 9, 10
評価の観点・ 評価の方法	○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○ 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。		
先生から アドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、ノート の取り方など)	コミュニケーション英語Ⅲの授業は、コミュニケーション英語Ⅱの内容を発展させたものになります。コミュニケーション英語Ⅱで学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅲではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。		

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
後 期	10	NT L7	Executed, But Not Proved Guilty	7	第1次世界大戦当時から今日に至るアメリカ合衆国における移民に対する偏見についての英文を読む。
	11	NT L8	False Faces – Reversing Assumptions	7	エジソンやフォードの例から、従来の考え方に捕らわれない発想の大切さを説いた英文を読む。
	12	BD. L1	The History of Ekiben	5	日本独特の食文化である駅弁の歴史や由来、発展について説明された英文を読む。
		第4回考査			
	1	NT L9	Pitfalls in Speech	7	コンピュータの会話と人間の発話の違いから、コミュニケーションにおいて必要な言葉の選び方について説いた英文を読む。
	2	NT L10	The History of Maps	8	今日使われている地図の背景にある世界観や歴史について書かれた英文を読む。
		BD. L2	Three Tips for Maintaining a Conversation	5	会話を上手に維持するための3つのコツと、社会生活を営む上での会話の大切さを英語で理解する。
		年度末考査			
		総時間数		39	

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ （R・普通科理系）	1	普通科	2
履修形態	授 業 形 態	指 導 者 名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英語科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER Communication EnglishⅢ （数研出版）
教科書以外の教材（発行所）	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 4 （Z会出版）

目 標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。		
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 （予定）	第4回	BIG DIPPER Ⅲ： Lesson 1 New Treasure 4： Lesson 7, 8
		年度末考査	BIG DIPPER Ⅲ： Lesson 2 New Treasure 4： Lesson 9, 10
評価の観点・ 評価の方法	○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○ 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。		
先生から アドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、ノート の取り方など)	コミュニケーション英語Ⅲの授業は、コミュニケーション英語Ⅱの内容を発展させたものになります。コミュニケーション英語Ⅱで学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅲではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。		

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
後 期	10	NT L7	Executed, But Not Proved Guilty	7	第1次世界大戦当時から今日に至るアメリカ合衆国における移民に対する偏見についての英文を読む。
	11	NT L8	False Faces – Reversing Assumptions	7	エジソンやフォードの例から、従来の考え方に捕らわれない発想の大切さを説いた英文を読む。
		BD. L1	The History of Ekiben	5	日本独特の食文化である駅弁の歴史や由来、発展について説明された英文を読む。
	12	第4回考査			
	1	NT L9	Pitfalls in Speech	7	コンピュータの会話と人間の発話の違いから、コミュニケーションにおいて必要な言葉の選び方について説いた英文を読む。
		NT L10	The History of Maps	8	今日使われている地図の背景にある世界観や歴史について書かれた英文を読む。
	2	BD. L2	Three Tips of Maintaining a Conversation	5	会話を上手に維持するための3つのコツと、社会生活を営む上での会話の大切さを英語で理解する。
		年度末考査			
		総時間数		39	

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	英語表現スルーリーディング	1	普通科	2
履修形態	授業形態	指導者名		
全	一斉授業	英語科		

教科書（発行所）	Speaking Gym Basic (数研出版) Jet Reading, Level 2 (数研出版)
教科書以外の教材（発行所）	配布プリント

目 標	英語の学習分野全体をバランスよく伸ばす。英文の内容を短時間に大まかにつかみ、全体の要旨を把握する力を育てる。幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的なコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。		
定期考査	出題方針	教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第1回	実施しない
		第2回	Jet Reading Lesson 1～10
		第3回	実施しない
		第4回	Jet Reading Lesson 11～16
		年度末考査	Jet Reading Lesson 17～22
評価の観点・ 評価の方法	○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○具体的な評価は、授業中の取り組み、ファイル提出、定期考査などを適切に活用して総合的に行う。		
先生から アドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、ノート の取り方など)	英語表現スルーリーディングの授業は、様々なテーマの英文を読んだり聞いたりし、その内容に関して、また、本文の表現を応用して、様々な表現活動（書く・話す）を行います。授業中の活動に積極的に参加しましょう。		

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前 期	4		ガイダンス	2	
			Activity 1 Lesson 1 / 文化	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
			Activity 2 Lesson 2 / 教育	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	5		Activity 3 Lesson 3 / 伝記	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	6		Activity 4 Lesson 4 / 生活	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
			Activity 5 Lesson 5 / スポーツ	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	7		第2回考査		
			Activity 6 Lesson 6 / 生物	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	8		Activity 7 Lesson 7 / 社会	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	9		Activity 8 Lesson 8 / 国際理解	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
後 期		10	Lesson 9 Lesson 9 / 宇宙	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
			Activity 10 Lesson 10 / エッセイ	2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
			Activity 11 Lesson 11 / 文化 Lesson 12 / 環境	3	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
			第4回考査		
		12	Activity 12 Lesson 13 / 物語 Lesson 14 / 国際理解	3	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
			Activity 13 Lesson 15 / 文化 Lesson 16 / 教育	3	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
	1		Activity 14 Lesson 17 / 文明 Lesson 18 / 医療 Lesson 19 / 社会	4	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
		2	Activity 20 Lesson 20 / 科学 Lesson 21 / 文化 Lesson 22 / 国際理解	4	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
			年度末考査		
			総時間数	39	

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ (L・普通科文系/理数科)	3	普通科 理数科	2
履修形態	授業形態	指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英 語 科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER English Communication Ⅱ（数研出版）
教科書以外の教材（発行所）	BIG DIPPER English Communication Ⅱ ワークブック（数研出版）

目 標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。		
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第1回	Lesson 8
		第2回	Lesson 9 Acting Out
		第3回	Lesson 10 Reading
評価の観点・ 評価の方法	○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。		
先生からアドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、 ノートの取り方など)	2年次のコミュニケーション英語Ⅱの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅱではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。		

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
通 期	4,5	8	What Is the True Meaning of <i>Mottainai</i> ?	22	「割り箸」「レジ袋」「再生紙」につき、常識と思われている考えについて考察し、客観的に考えることの重要性について考える。
			第1回考査		
	5,6	9	Fair Play in Sports: What is “Fair”?	24	スポーツにおける具体的な場面をもとに、フェアプレーかどうかについて考え、自分の意見を発表したり、相手と議論したりする。
			Acting Out	23	美術館で展示物のツボを割ってしまった高校生たちがとった行動および結末とは何か、物語の概要を理解する。
	7,8 9,10	10	Floating Education	23	バングラデシュの厳しい生活環境や教育を受ける権利の重要性を理解する。
			For Reading 2	25	愛する友人が亡くなった悲しみを、思い出で癒し、乗り越えようとする仲間たちの物語を読み深める。
			第3回考査		
			総時間数	117	

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ (L・普通科理系)	2	普通科	2
履修形態	授業形態	指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英 語 科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER English Communication Ⅱ（数研出版）
教科書以外の教材（発行所）	BIG DIPPER English Communication Ⅱ ワークブック（数研出版）

目 標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。		
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第1回	Lesson 8
		第2回	Lesson 9 Acting Out
		第3回	Lesson 10 Reading
評価の観点・ 評価の方法	○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。		
先生からアドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、 ノートの取り方など)	2年次のコミュニケーション英語Ⅱの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅱではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。		

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
通 期	4,5	8	What Is the True Meaning of <i>Mottainai</i> ?	15	「割り箸」「レジ袋」「再生紙」につき、常識と思われる考えについて考察し、客観的に考えることの重要性について考える。
		第1回考査			
	5,6	9	Fair Play in Sports: What is "Fair"?	16	スポーツにおける具体的な場面をもとに、フェアプレーかどうかについて考え、自分の意見を発表したり、相手と議論したりする。
		6,7	Acting Out	Crash	15
	第2回考査				
	7,8	10	Floating Education	15	バングラデシュの厳しい生活環境や教育を受ける権利の重要性を理解する。
		9, 10	For Reading 2	Badger's Parting Gifts	17
	第3回考査				
	総時間数			78	

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (L・普通科文系/理数科)	1	普通科 理数科	2
履修形態	授業形態	指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英 語 科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER English Communication III（数研出版）
教科書以外の教材（発行所）	BIG DIPPER Communication III ワークブック（数研出版）

目 標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。		
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第4回 年度末	Lesson 1～6 ----- Lesson 7～12
評価の観点・ 評価の方法	○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○具体的な評価は、定期考査を中心に、授業中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。		
先生からアドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、 ノートの取り方など)	コミュニケーション英語Ⅲの授業は、コミュニケーション英語Ⅱの内容を発展させたものになります。コミュニケーション英語Ⅱで学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅲではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。		

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
通 <					

